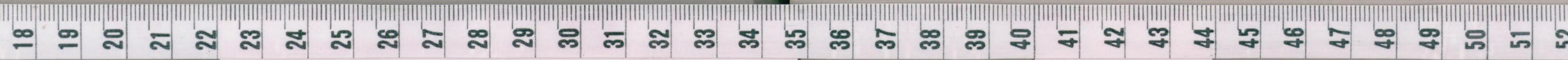
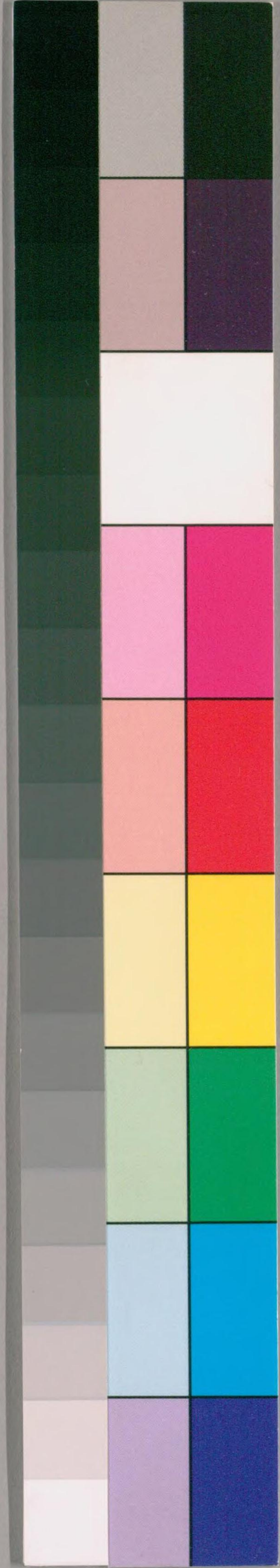




俳諧心の友
全

858
71



国立国会図書館 タイトル『俳諧心の友』 請求記号 858-71

ガラス使用



858-71

序

我道は其の才とて先
いふ事なきとてむかひの親に
はるる事なきとて何れか
又とて海に舟を乗せし
今も其の才とて何れか
あぐさるる事とて何れか
世道に足るる又其の才



おもむきまゝにまゝにぬきまゝに下り
玉の如きかたき子似て野々草と
いふくまゝに尾の如きかたき子似
て只で情乃むくのみまゝとまゝに
麻乃子麻乃子乃酒乃く洗乃
忽乃舞乃乃まゝと歌
深乃子乃まゝとまゝと歌
まゝとまゝと東都にまゝの舞

首の今と止まゝと歌
指の今と止まゝと歌
此後乃歌一何備若若と
教乃す中乃町乃らまゝと
イヤヤとまゝとまゝと歌
まゝと歌乃まゝと歌
まゝと歌乃まゝと歌
まゝと歌乃まゝと歌
まゝと歌乃まゝと歌

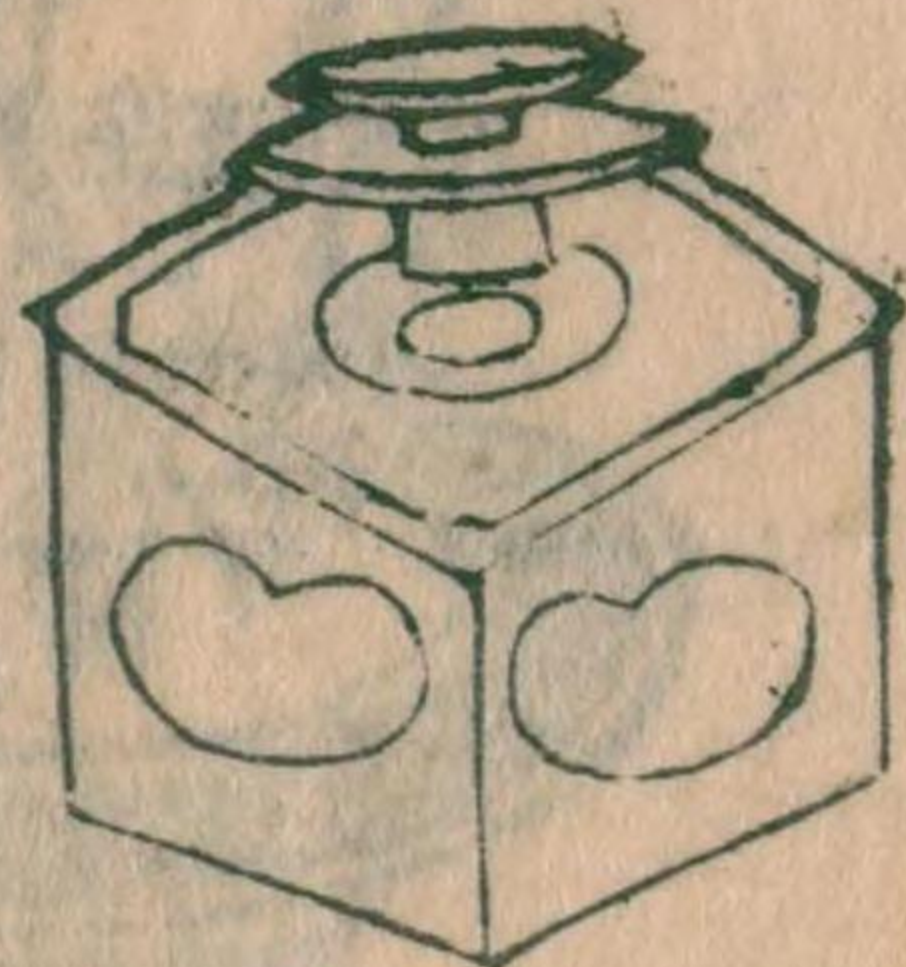


福海堂

初也

乃集

初會



舎は斗
用

あーしては友心の中家蔵



Handwritten calligraphy on the right page, including a vertical column of characters and a large flourish on the right side.

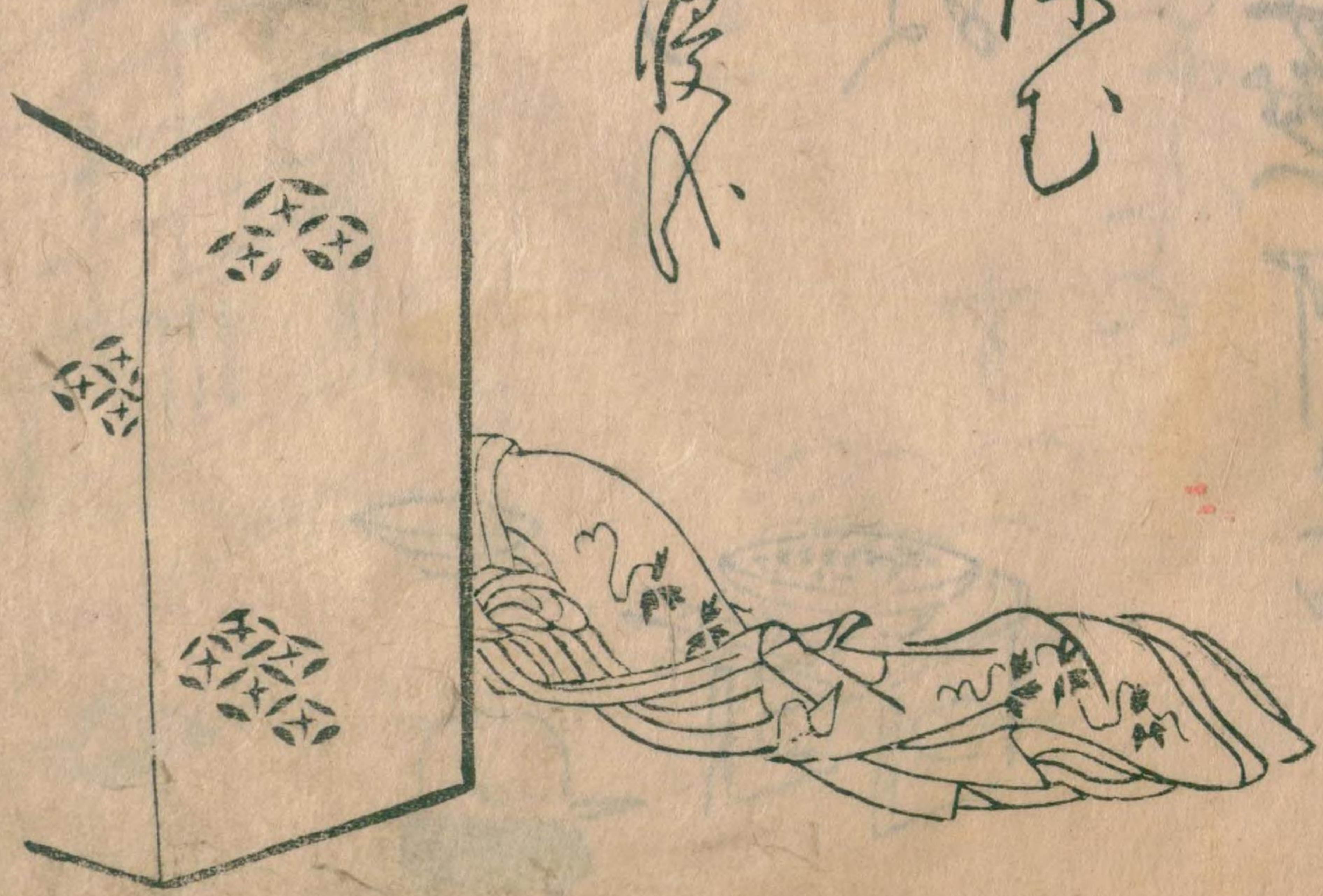


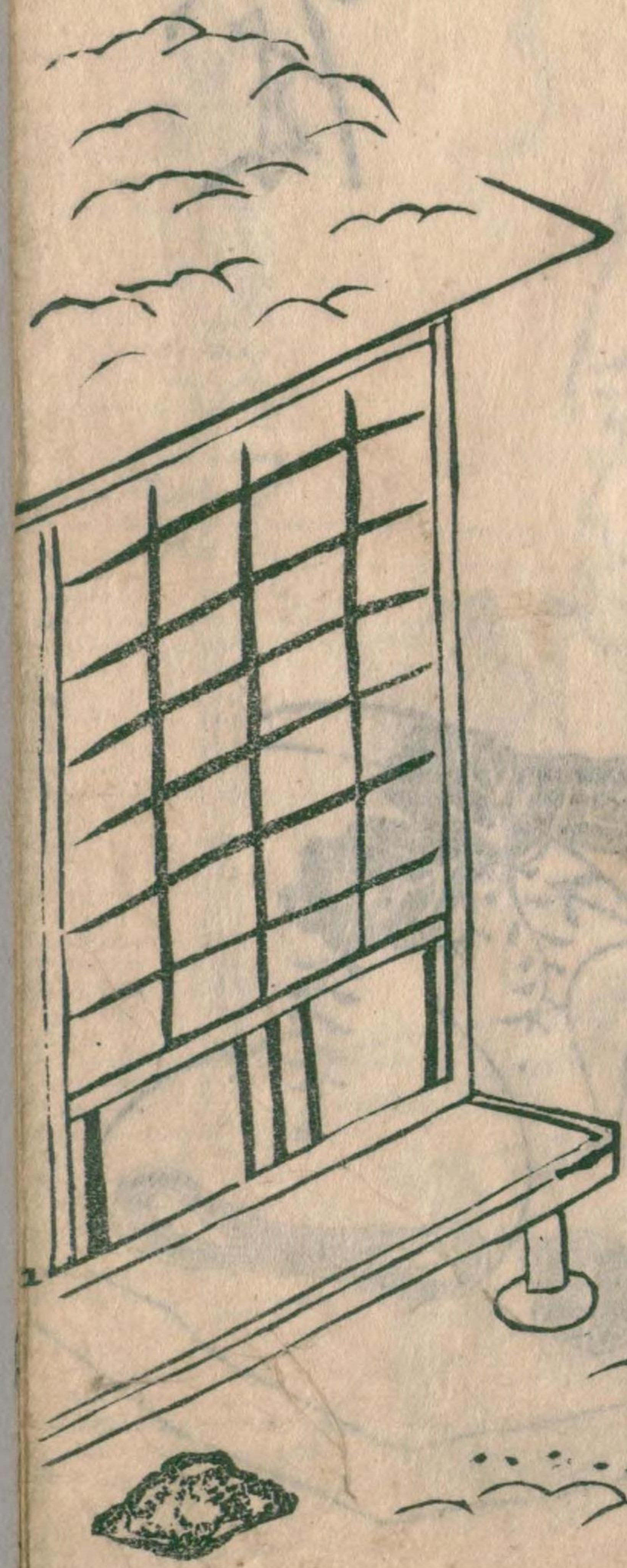
Handwritten calligraphy on the left page, a vertical column of characters.

Handwritten calligraphy on the left page, a vertical column of characters.

Handwritten calligraphy on the left page, a vertical column of characters.

Handwritten calligraphy on the left page, a vertical column of characters.





深
遠
の
境

雲

茶
の
湯

居
候
々

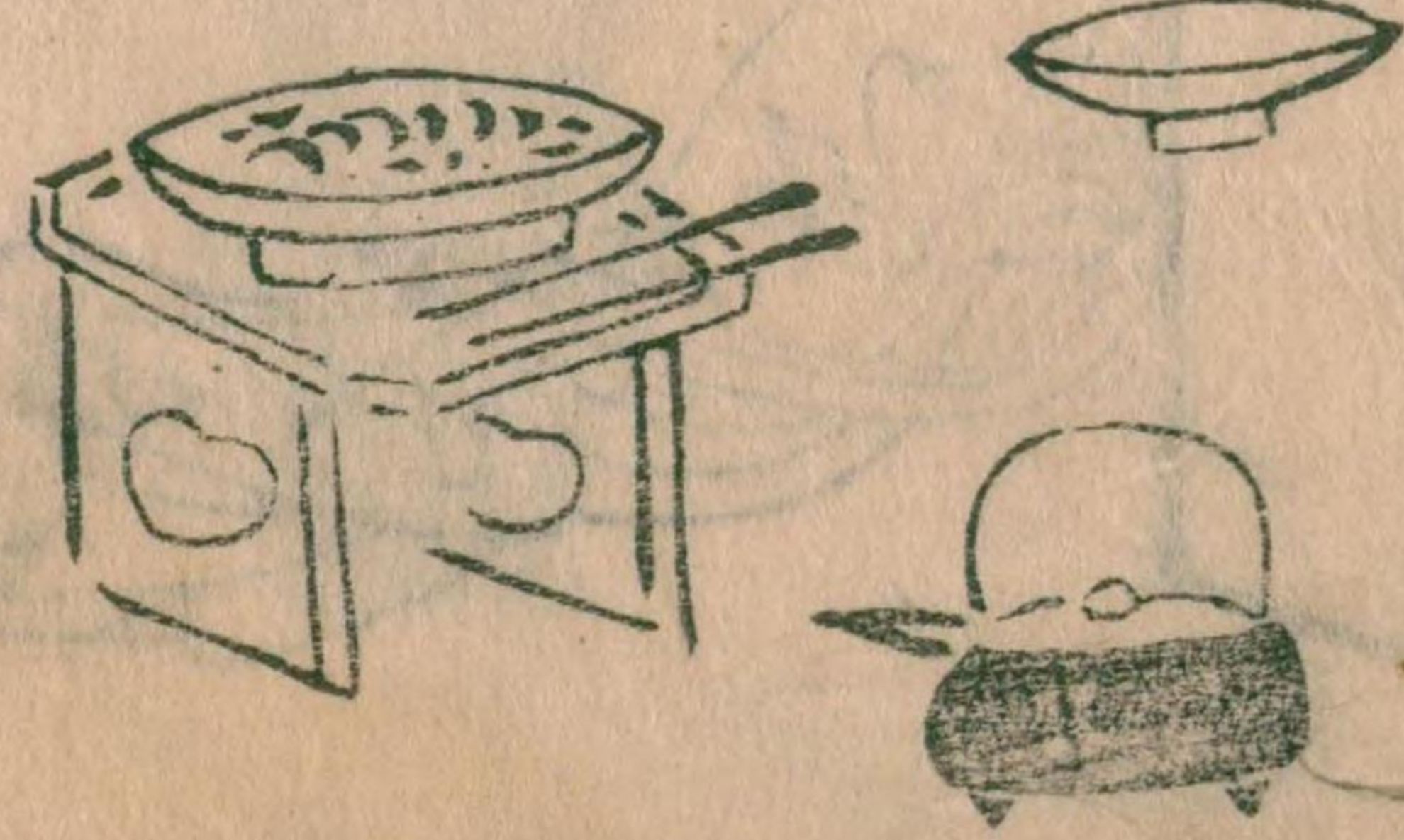
朝
乃
燕
可
吉

か
た
ぬ

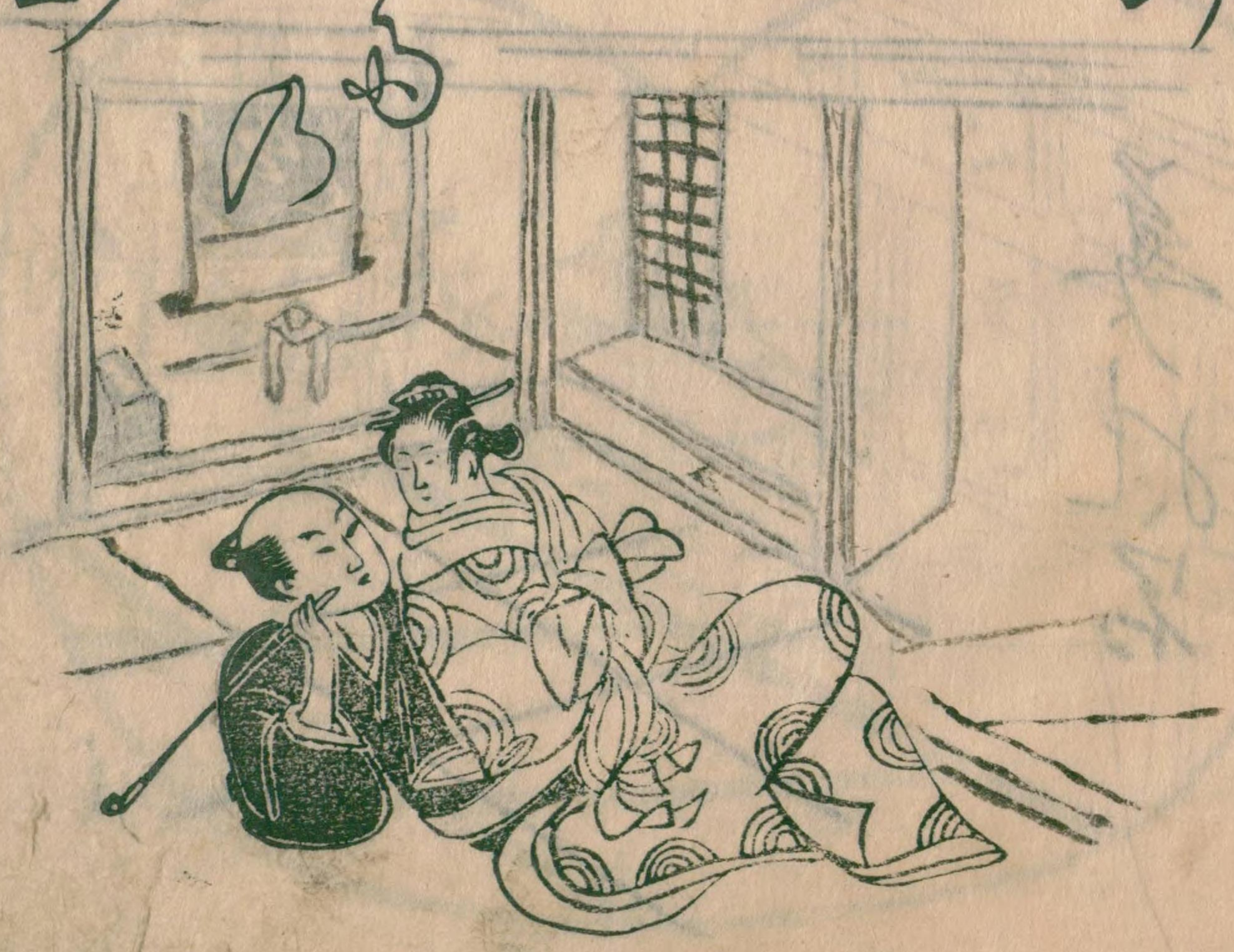
く
び
り

ま
ん

紋
白

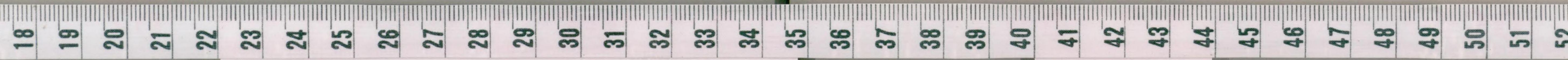


あまのこ
あまのこ
涼
あまのこ



あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ

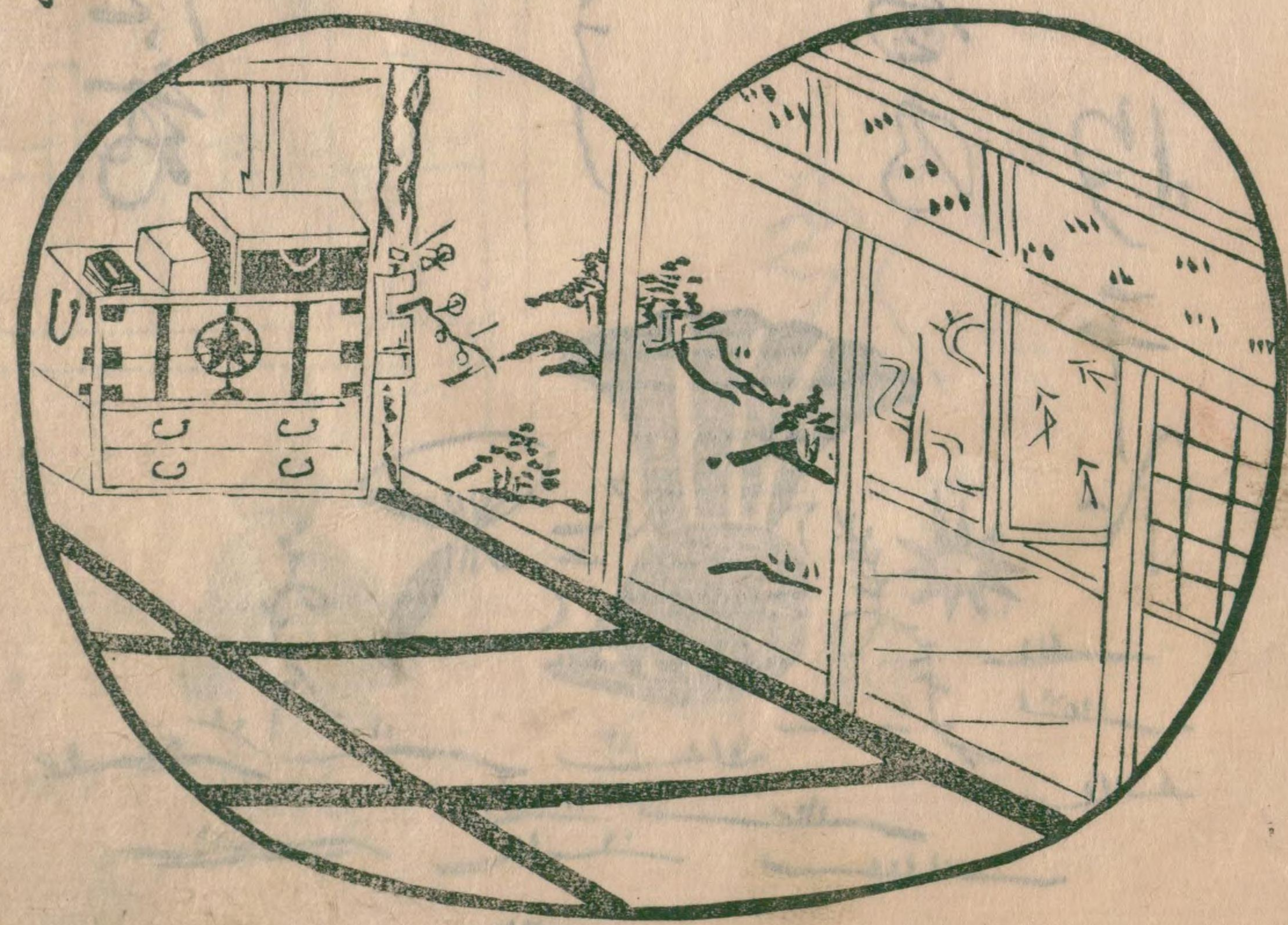


菜
乃

乃
乃

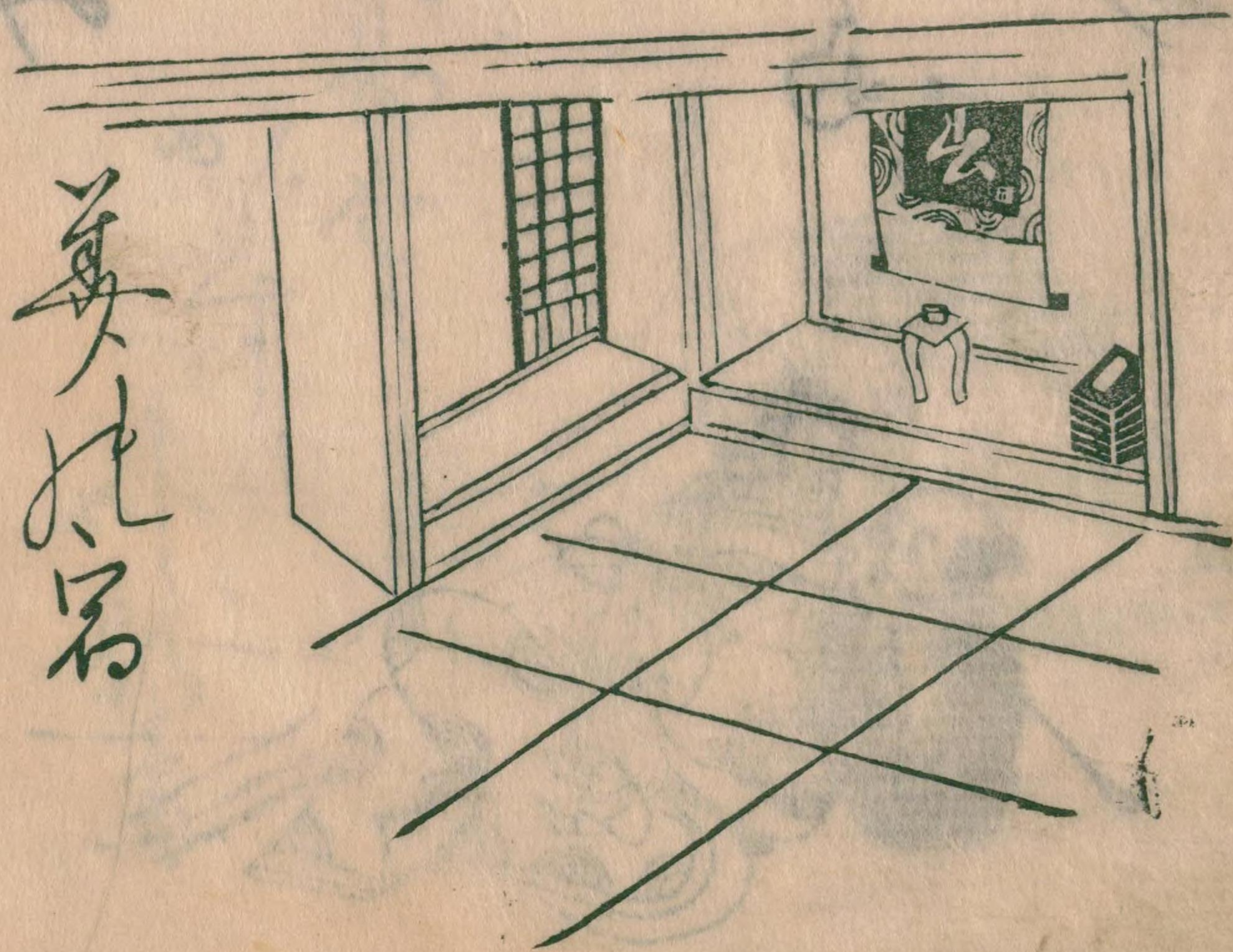
早
早

初
初



情
深
乃
乃
乃

美
美

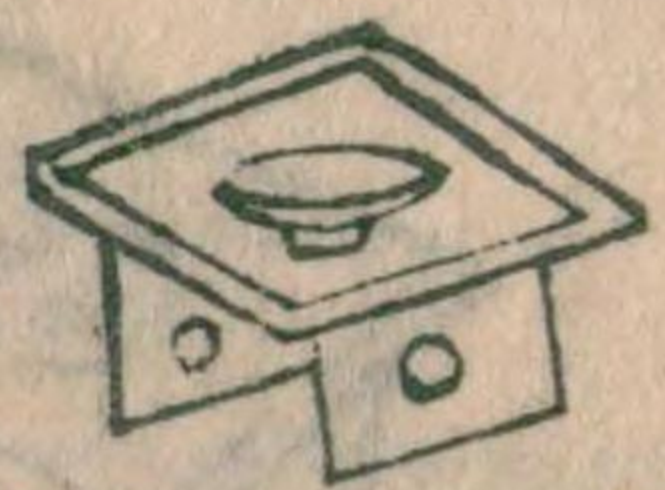


花
夜

侍

侍

侍



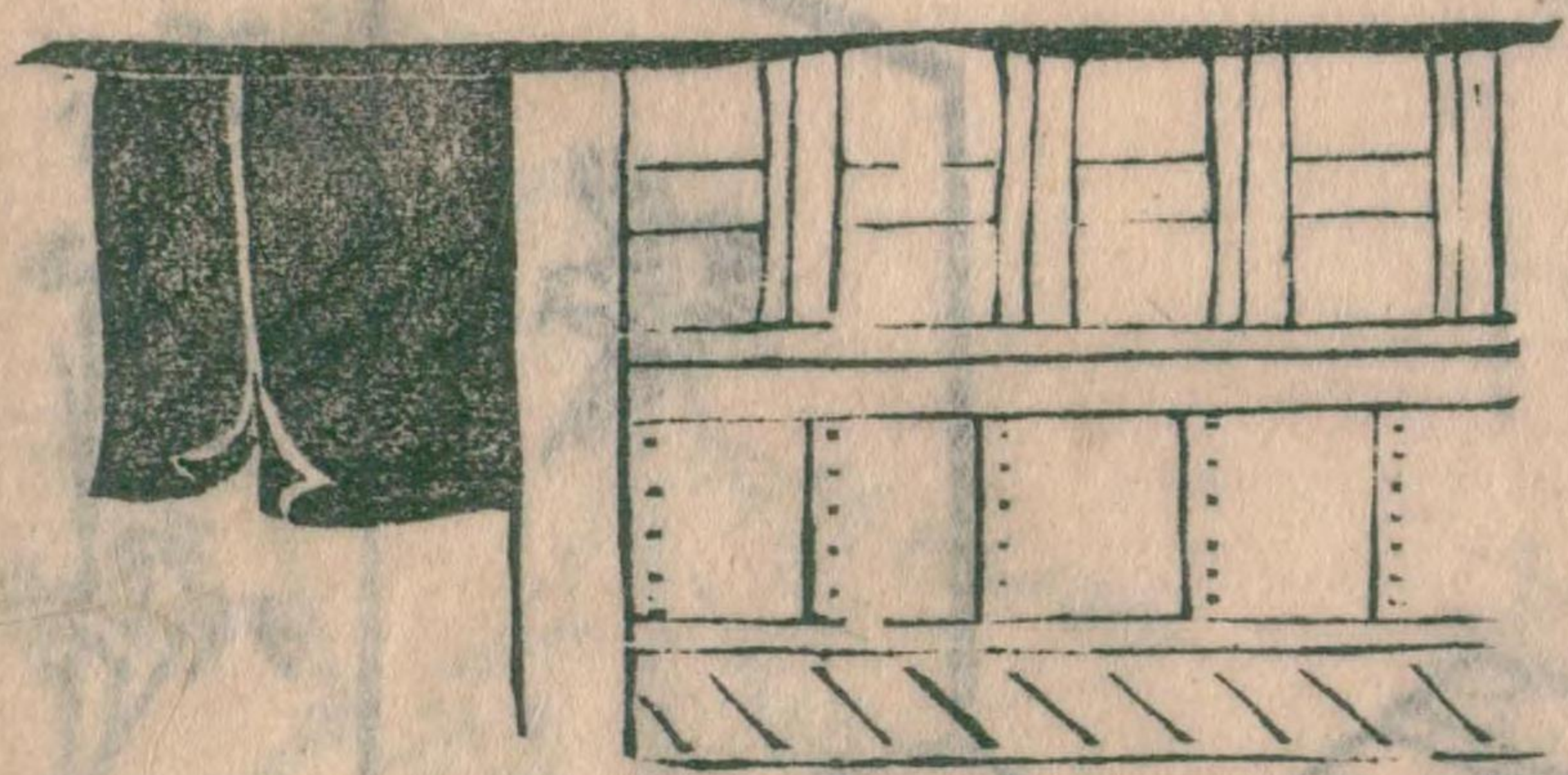
道中
侍

道中



素の源の
すかき地系

東月舟



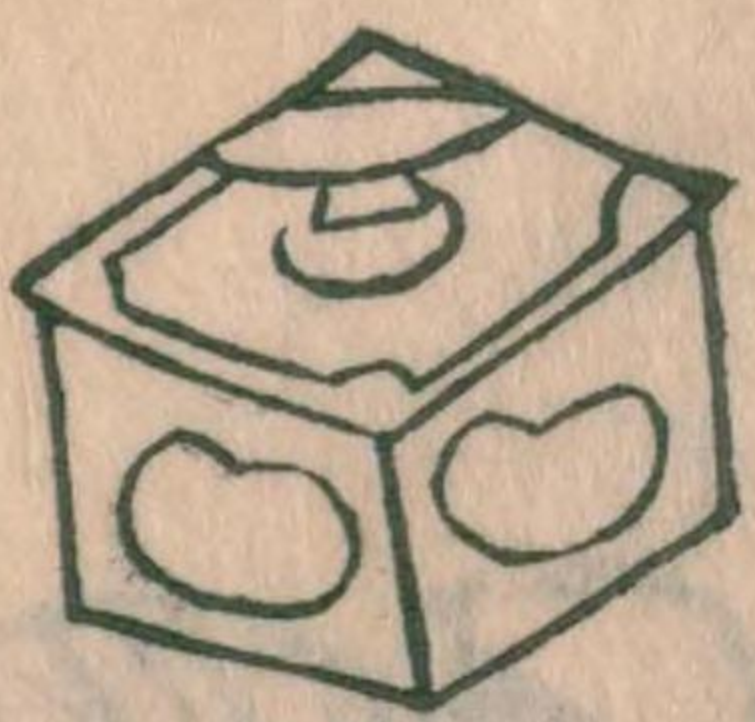
芳信

鏡地

道新

すかき地

放生會





名付の
 振の
 拵乃
 蛙
 水

口舌



好
 美
 乃
 志
 乃

揚子



あし、
あし

あしを志す

あし乃

あし

あし乃

あし乃



目元の好

小の好

おさふ

羽衣ひた

壳

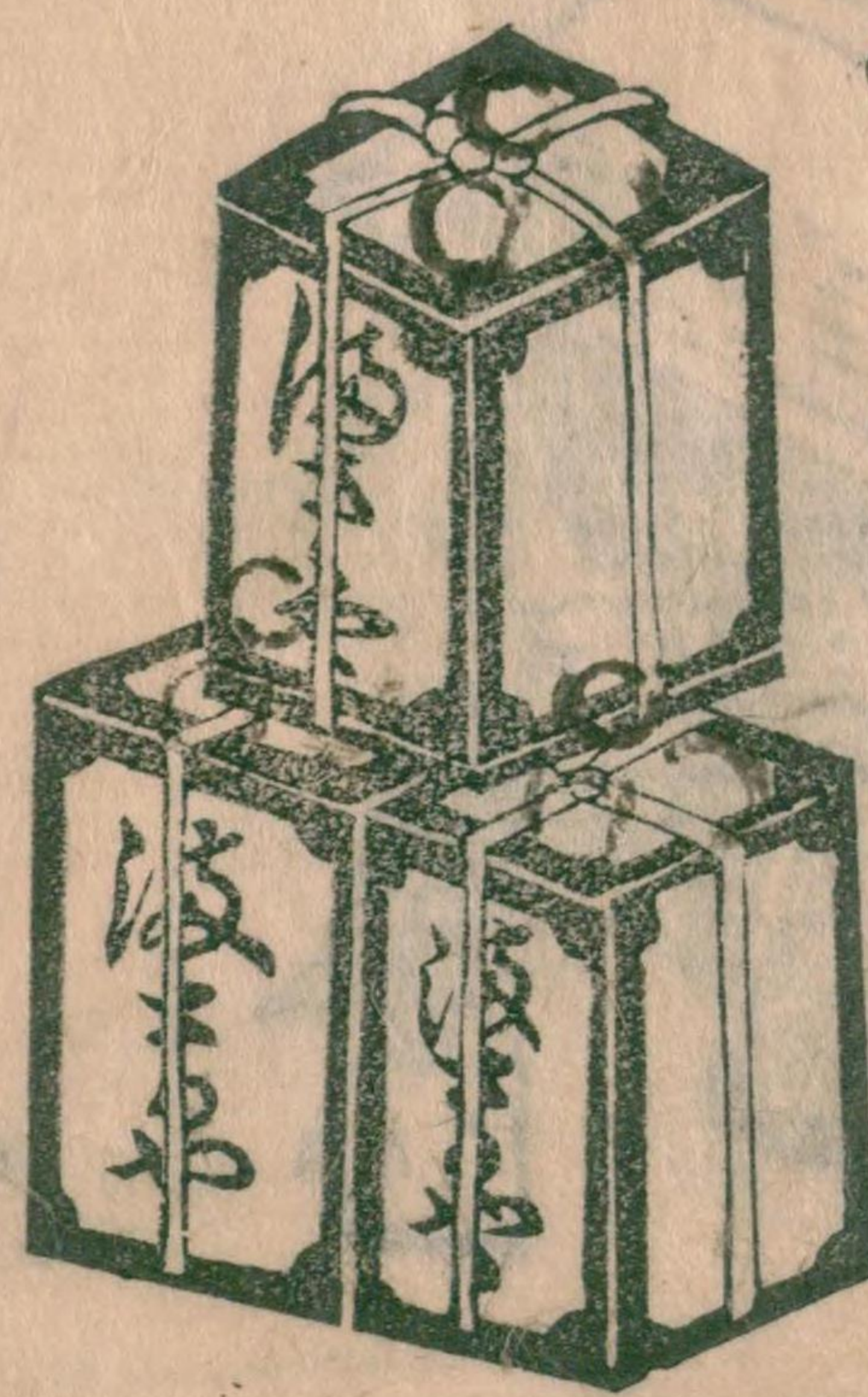


牡丹びん

母の好

おさふ

神の好



乃 後 妹 姉 郎 花 心 東 新 花



心 東 新 花 乃 後 妹 姉 郎 花



美人茶



碎
あ
あ

い

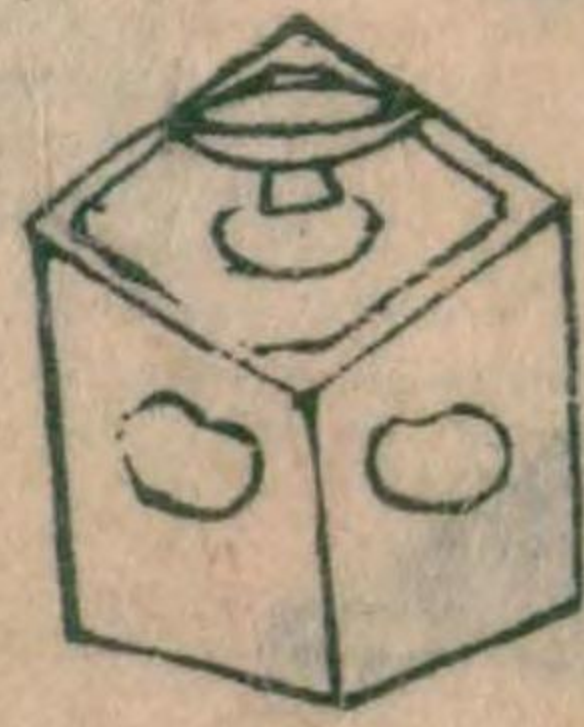
い

い

い

率
既

い
い
い



実
今

い

い

い
い
い

い
い
い





中
かたす
ね

附

新

芝野可志

坊

心
吹
乃
後
起
心

美
心
子





鳴呼

多又だこ

屋んたるりせ

旨一情乃

恙相茶

睦之

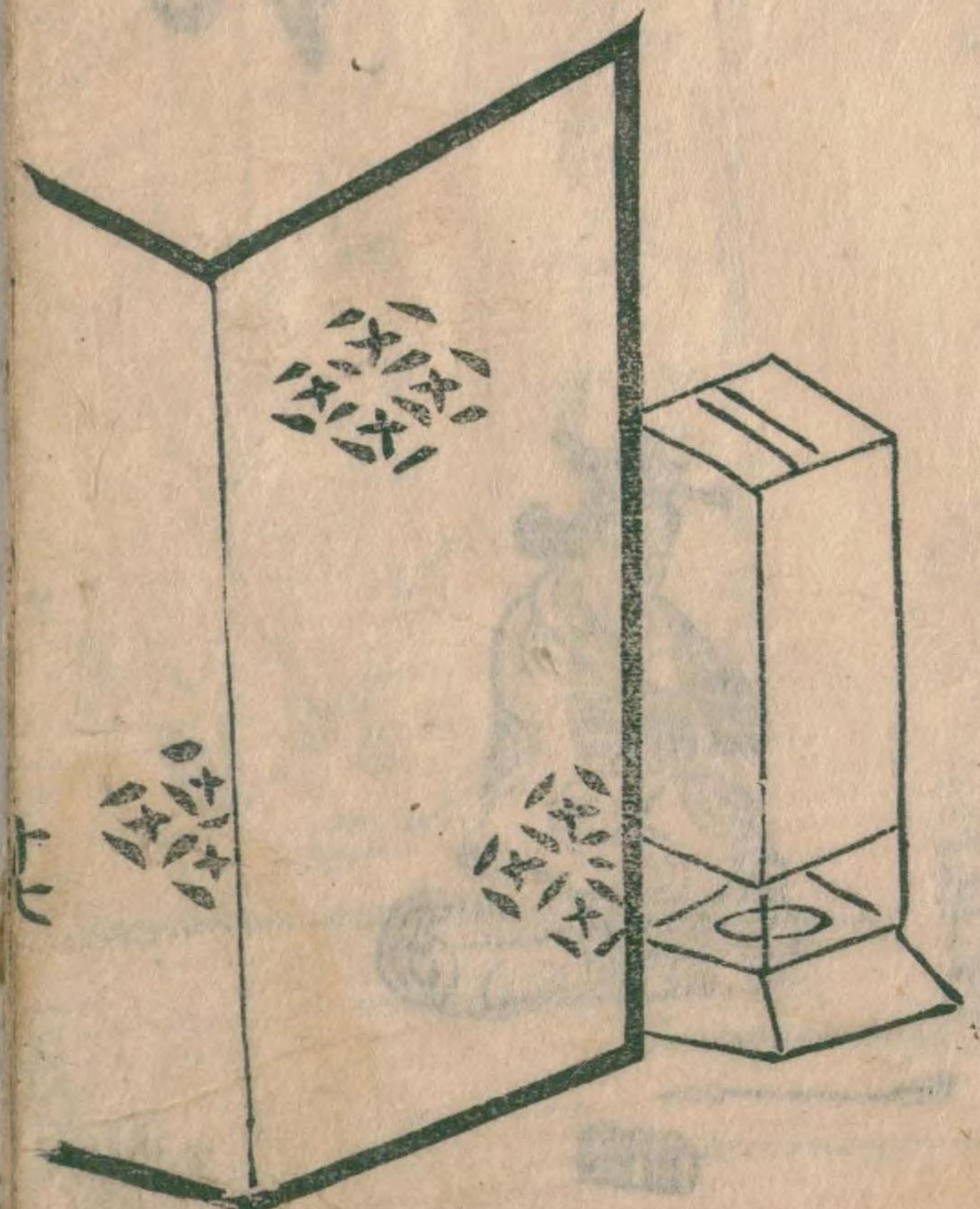
志乃初り也

晴りて

色し

来乃

雲



心海詩

長心

下中

詩心集

心集

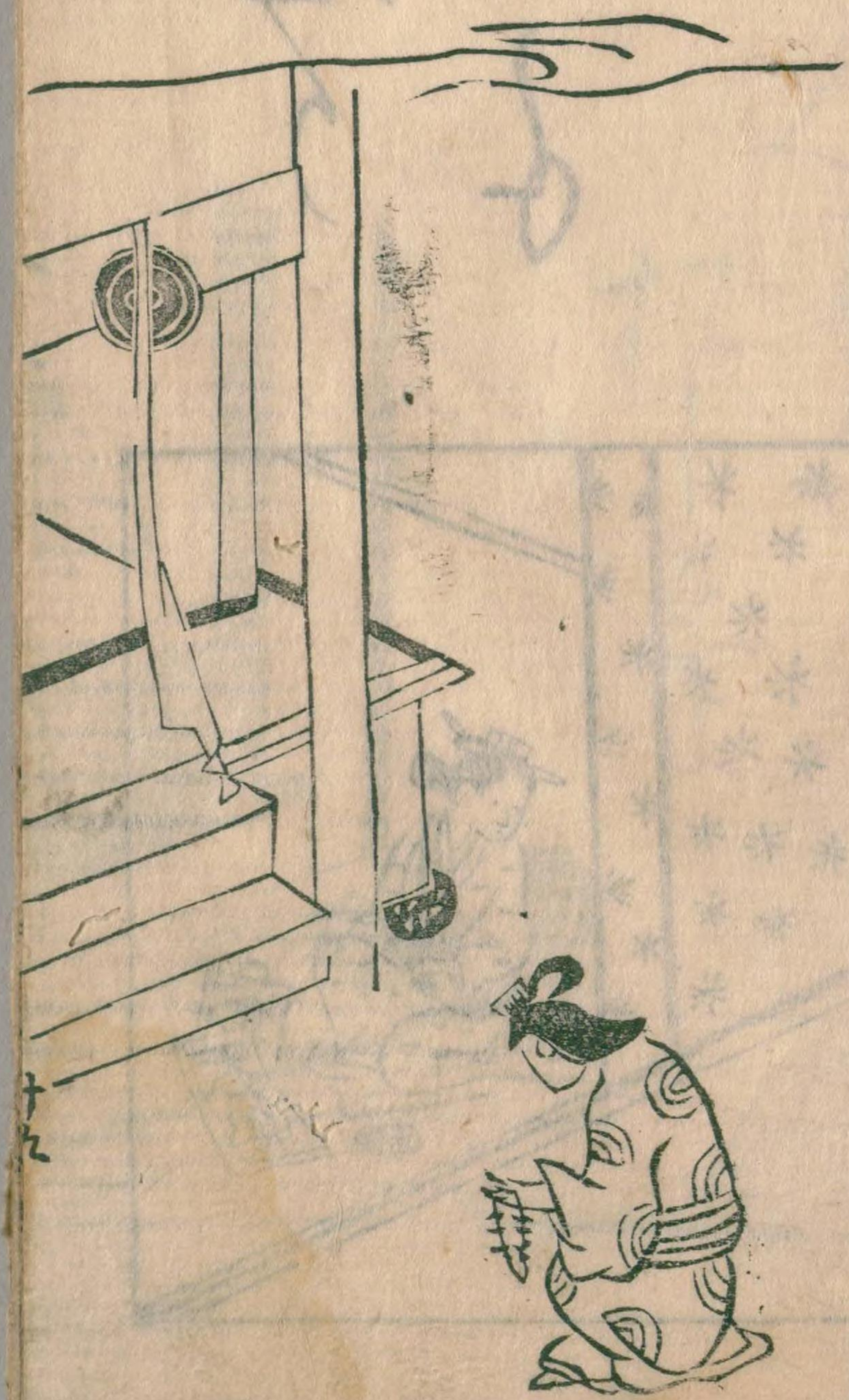


心集寸紙

心乃集守心

心集



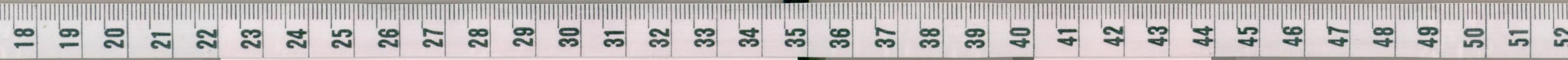


Handwritten Japanese text in the left margin, including the characters '朝自如來' (Asa no Jizō) and '阿彌陀佛' (Amitayus).

朝自如來 (Asa no Jizō)



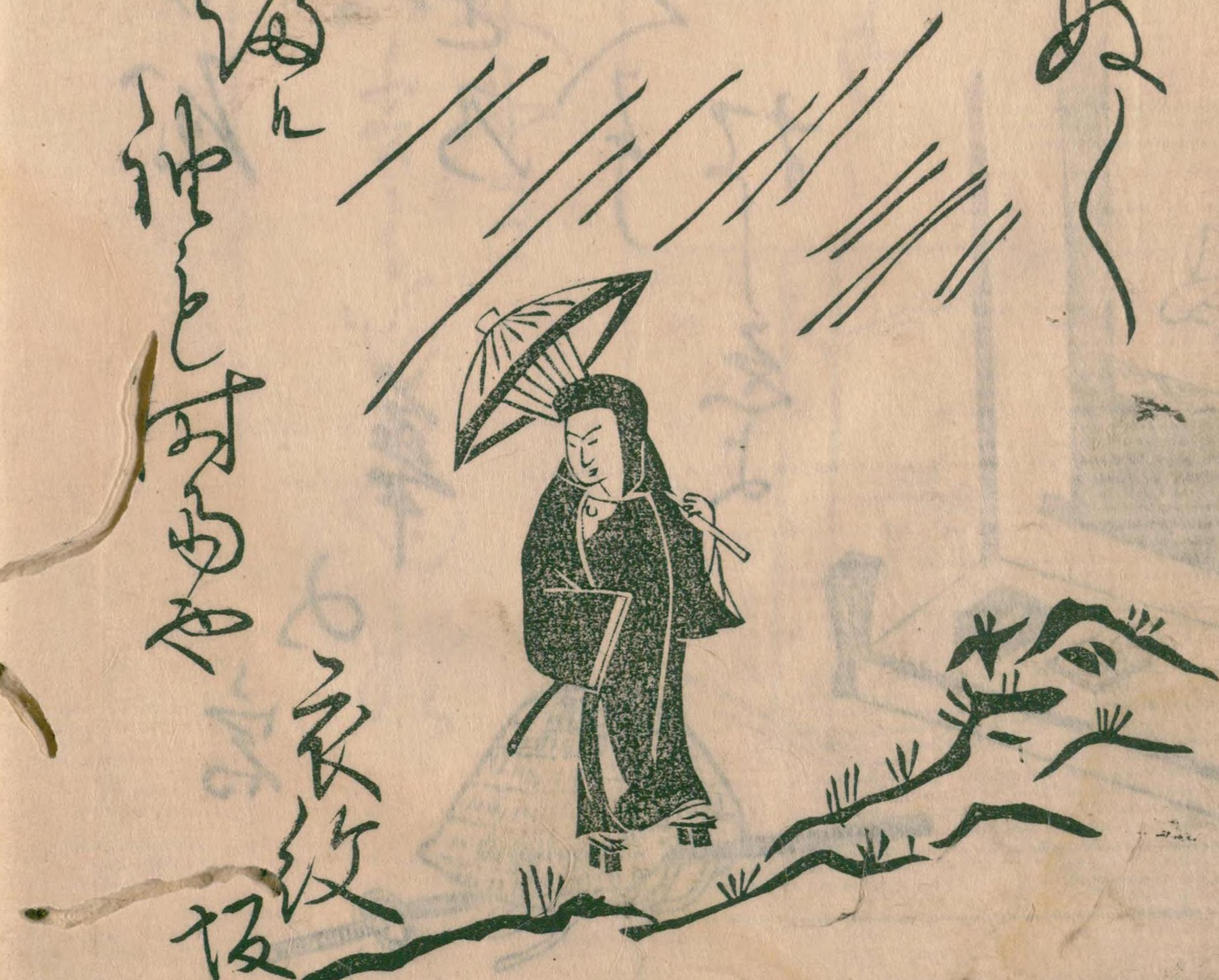
Handwritten Japanese text in the right margin, including the characters '大下' (Ōshimo) and '祥' (Sachō).



一
早
女
馬
籠



好
海
女
紋
扱



舟の編笠



深草

偏也乃

石舟

舟客

提灯

舟

舟

舟

舟



花身

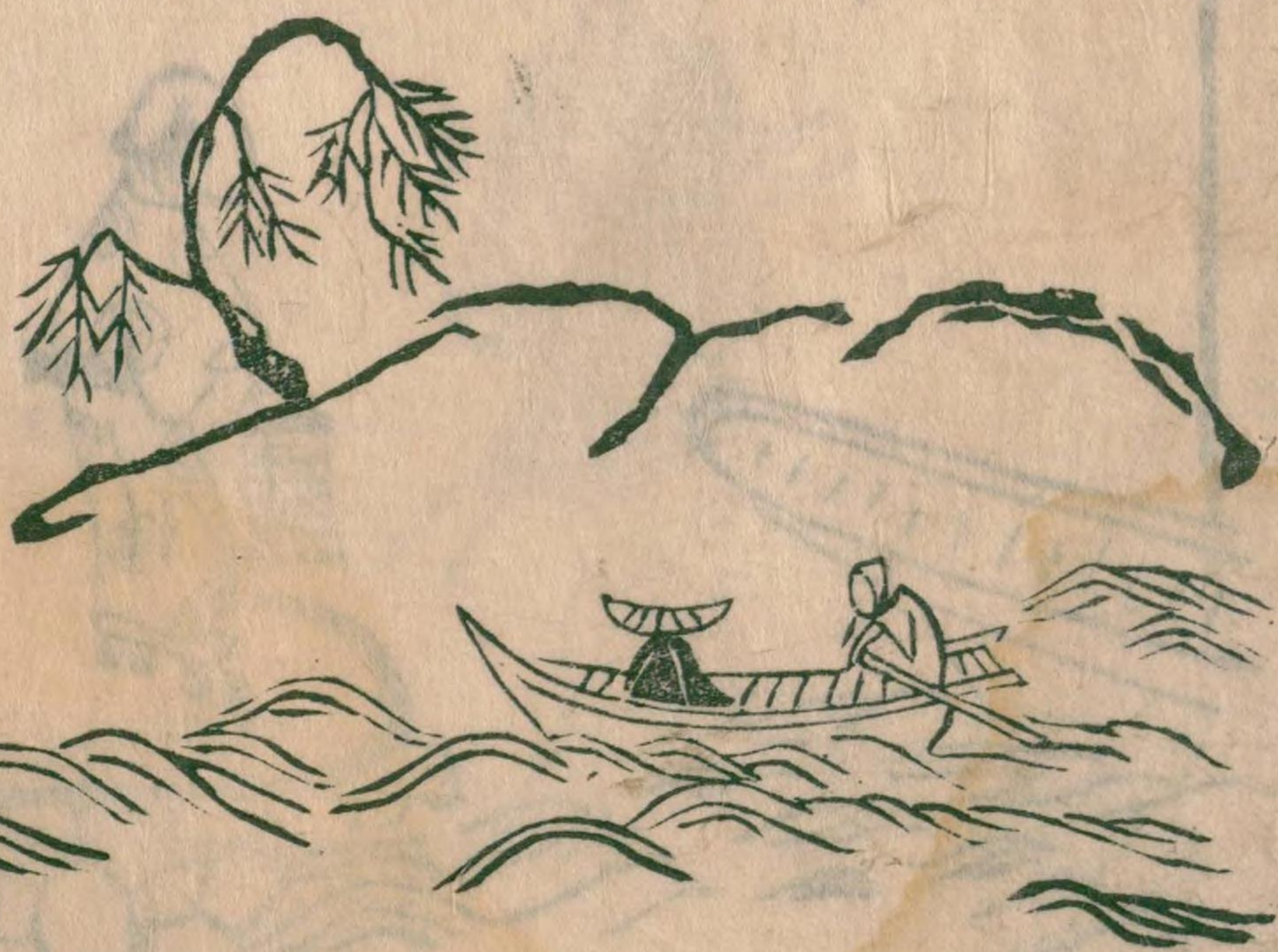
舟

あり

棹

ちんちん

柳可南



十子哥仙

舟まちちんちん

集テ

舟はまもなげのちんちん初紋目

情乃ちんちんちんちん

角丁もすまて火点あかり

あす切舟の魚も新丁

情で涼し舟の階揚全町

甘き舟の味も又申れ丁

舟酒の飯と信すやあは尻

茶の町なるかゝるすゝも居候
を海とて人忠と義徳の博ま
起ははとまきく九命か清ウケ
母ふ家を支振子の影まぬり
顔中むらあつ所生つらる
は今のけで思案のきめ同土
おぬ衣紋板作に
あふぬよふも世に僅かす間

白のしあひ度ぬさひは同守
早からぬさし打場とわけてはた
今ふとまにたは身をさる能

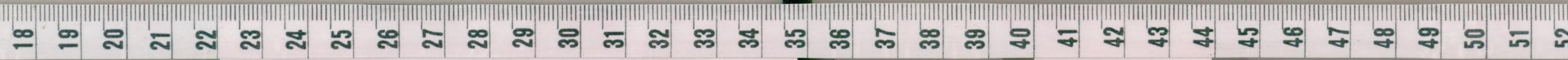
吾同此種とす下婦と
顔として各各自とまき
ふくむたがふくむたは事
手先よりたまふまのたは事



吾国は僅に二三好む
顔にして各自由とす
千光より来る心も
心もなす
心もなす

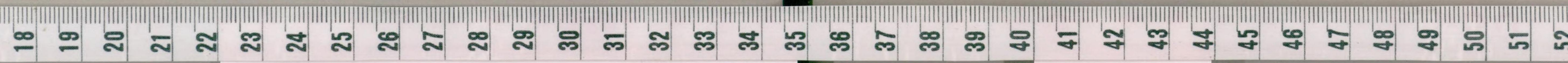
早からぬは
今戸とて
早からぬは
今戸とて

おほき
揚子江
笑ひ
おほき
揚子江
笑ひ
おほき
揚子江
笑ひ



なまのうらみはなまのうらみ
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき

あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき
あはれなきはあはれなき



858
71

安永三甲午初春

神田鍛冶町二町目

書林池田屋傳兵衛

今もむかへは修州
長き夜や又掃くもほかに

あはれはさしつかへなく
はなれよとあはれをさるはなれ
りあて別と権乃とあま
たのやまのあはれにも今あま
いはれと廊と羅までむかへ
世帯のちのむかへもさるはな
はくのもあまのむかへもさる
はなれよとあはれをさるはな



国立国会図書館 タイトル『俳諧心の友』 請求記号 858-71

ガラス使用